

七沢療育園便り

第76号

2018年7月発行

神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢療育園

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516

電話 046-249-2720

ファックス 046-249-2739

ホームページ <http://www.n-ryoikuen.kanagawa-refab.or.jp/>

メールアドレス ryoikuen@kanagawa-rehab.or.jp



いろいろとあついですね



支援課課長 吉川 匡



とても暑いが続いていますが、体調など崩されてはいませんか。各地で熱中症により多くの人が救急搬送されたというニュースが連日報道されています。

西日本の豪雨で甚大な被害に遭われた方々は、避難生活や倒壊した家の片づけに追われて、心労が重なる時にこの暑さです。さぞ厳しい中で過ごされていることと思います。心よりお見舞い申し上げます。一日も早く普段の生活が取り戻せる様願うばかりです。

2年後の東京オリンピックパラリンピックに向けて、競技の内容、時間が公表されました。熱戦が繰り広げられることは間違いありませんが、如何せんこの暑さです。競技は早朝であったり、夕刻であったりと暑さ対策に余念がないようです。競技者も観戦者も暑さ対策をしっかりと楽しみたいものです。会場が東京という比較的近い場所ということで、療育園の利用者の方たちにとっても熱気あふれる会場で臨場感を味わえるチャンスが訪れたわけです。まずは、利用者の方にオリンピック・パラリンピックを知っていただく機会を作り、応援に行きたいという熱いコールが上がり、観戦が現実のものにできればと熱く願っています。2年後に向けて療育園も今から熱く燃えることでしよう。

熱いといえば、当園のスタッフは、日々熱い思いを胸に利用者の幸せを求めて頑張っています。私は4月から、利用者の直接的なケアから若干離れ、立ち位置が変わったことにより、スタッフの熱い思いや頑張りをより感じるようになりました。是非、皆様からも厚い労いの言葉をかけていただくと、スタッフはこの暑さにも負けずに一層頑張れると思います。

たくさんの「あつい」を並べてきましたが、ご家族の方やボランティアの方の、篤い思いが利用者の方や、園の支えになってくださっていると思います。感謝です。厚く御礼申し上げます。

私事ですがこの暑さの中、無謀にもバーベキューをしたり、てんぷらをして油がはね熱い思いをしたりしています。

暑さに負けずに頑張りましょう。本当にいろいろあついですね。





6月お誕生日会&デモクツク



七夕に願いを込めて★



江の島水族館&海の家に外出しました!!
色々な魚やクラゲ、イルカショーを見て
美味しいご飯も食べて大満足でした☆彡



平塚七夕祭り



七夕祭り、海老名ららぽーと、などなど
色々な場所に外出しました!!!



ららぽーと★



全体活動『おしゃれなアイス』を

↓↓↓↓

作って食べました〜♪



～ライフステージに合わせて～

笑いの溢れる環境と家族支援 療育園にいらっしゃ～い♡

看護師：丸谷孝子

4月以降にご自宅や他の場所で過ごされていた2名の方が七沢療育園に入所され新たな生活をスタートさせました。

入所時のあるご家族からの言葉がとても印象に残りました。「私も子供も新しい人生を迎える」「子供は、ここで生きていくんだ」と、新たな人生を刻み始める子供への愛情と、ご自身の人生を顧みながら前を向き生きて行かなければとご自分に語っているような語りでした。長い自宅生活を親子で育んできた強い絆も感じられました。また、「ここで慣れていくように」というご家族の願いを当園が実現していくために、ご家族から本人の好みや嗜好などを伺い、親子の何気ないやり取りの中の表情に垣間見られるコミュニケーション方法などを教えていただきました。ご本人とご家族が一日も早く安心して楽しく過ごせるように看護計画及び支援計画を立案し、笑いのある環境の中で実践して行きたいと思います。

現在、療育園の長期入所者の平均年齢は46.6歳で、最高年齢は今年70歳迎える方、最年少は23歳の方です。有期限利用（短期・中期）は小学1年生以上が対象です。このように幅広い年齢層やライフステージのご家族が抱える生活課題は多岐に渡ります。

多様な状況の中におられるご家族と本人を支援していくためには、お一人お一人の家族の言葉や語りを大切にするとともに言葉の中に込められた思いを汲み取ることも大切です。

倉田は「情報収集の手段としては、重症児のフィジカルアセスメントとともに家族からの聞き取りは欠かせない。家族からの情報には、子供の出生から現在までの現病歴や既往歴・家族背景や家庭環境などが含まれる。・・・（中略）・・・青年期にある重症児の場合、幼児期の出来事は10年以上も時が経過しているにもかかわらず、家族は鮮明に覚えていることが多く、重要なエピソードが含まれている場合も多い。・・・（中略）・・・家族の語りを整理しながら、重症児の状況を適切に把握していくことが重要となる。」¹⁾と述べています。

利用者の成長発達や心身機能の変化も見逃せません。ご家族の年齢や家庭のライフステージから介護力の変化など小さな変化も意識しながら、ご家族の言葉や語りを大切にして利用者と家族への支援に取り組むことの大切さを感じています。

引用文献

1) 訪問看護師のための重症心身障害児在宅療養支援マニュアル 東京都発行 2015 P32

8月の予定

1日 グループ外出	13日 理容
5日 実習生設定活動	19日 ニコニコ会議
8日 グループ外出	21日 美容
12日 全体活動	22日 お誕生日会

編集後記

今回は写真を沢山載せて、利用者さんの素敵な笑顔を見て欲しいなと思いました！！職員も夏バテに負けず日々奮闘しております！皆さまもお体にはどうかお気を付け下さい。

児島